

## はじめに

兵庫県は北部が日本海、南東部が大阪湾、南西部が瀬戸内海（播磨灘）、そして淡路島南端は太平洋に面しています。また、県西部には県内最高峰の標高 1510m の氷ノ山があり、山地のブナ林から丘陵地の里山、平地の田畑、照葉樹林、海岸植生まで多様な自然環境を有しています。

そして、兵庫県のバッタを語る上で忘れてはならないのが草地と草原です。フキバッタやヒシバッタなどの一部のバッタは林や森にすんでいます。バッタの主な生息地は草地や草原のような場所です。兵庫県では過去に農耕用牛馬の放牧や茅場として利用されていた草地が、現在でも豊かな草地・草原環境として県内各地に残っています。

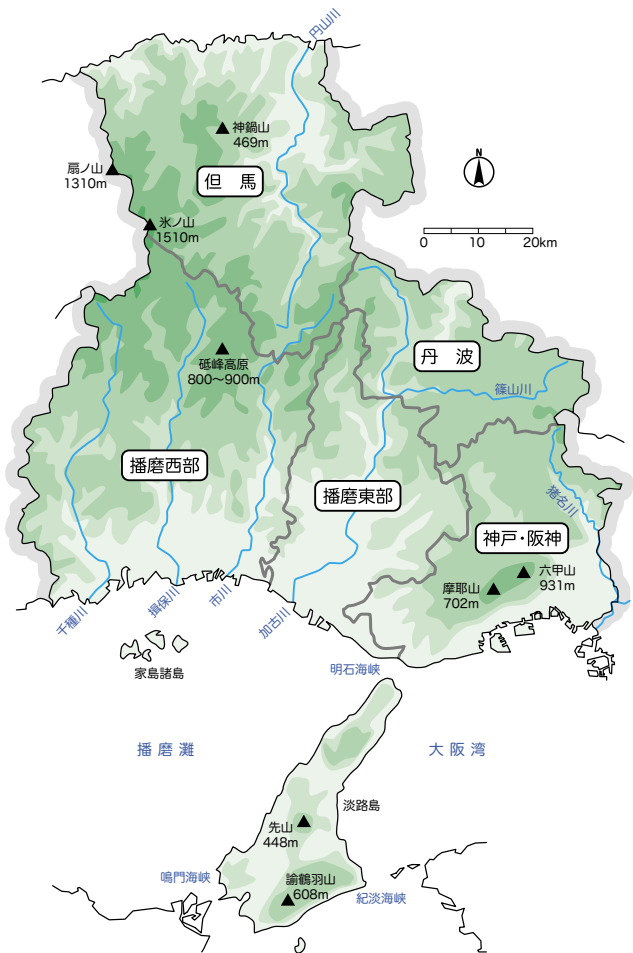
兵庫県にはその多様な自然環境に伴って、よく見かけるバッタから珍しいバッタまでいろいろなバッタが分布しています。ぜひ、この「ひょうごのぼった」図鑑を片手にバッタを探してみてください。皆さんの身近なところにもきっといろいろなバッタが見つかるはずです。

### ●バッタとは？

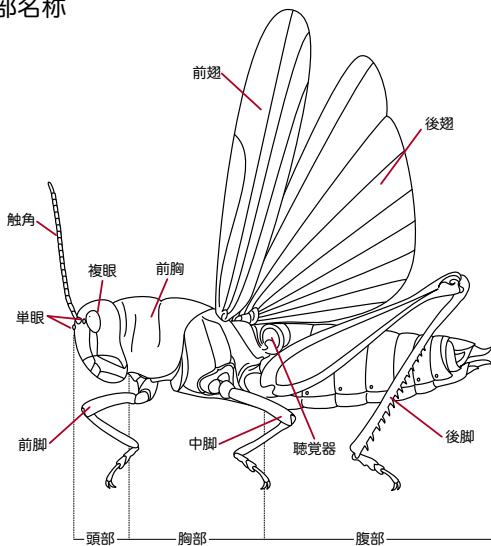
分類学的にはバッタ目 (ORTHOPTERA) のバッタ亜目 (Caelifera) のことをさします。バッタ目にはもう一つコオロギやキリギリスなどのコオロギ亜目 (Ensifera) が含まれます。コオロギ亜目の触角は細くて体より長く、耳は前脚脛節についていますが、バッタ亜目の触角は短く、耳は腹部第 1 節の側面にあるのが特徴です。また、コオロギ亜目には夜、前翅をこすって鳴く虫が多く含まれます。

分類群	世界	日本	兵庫
バッタ目	21396 種	445 種 32 亜種	128 種 3 亜種
バッタ亜目	10396 種	119 種 14 亜種	36 種 1 亜種
ノミバッタ科	128 種	4 種	2 種
ヒシバッタ科	900 種	38 種	9 種
オンブバッタ科	534 種	3 種	2 種
バッタ科	6416 種	72 種 14 亜種	23 種 1 亜種

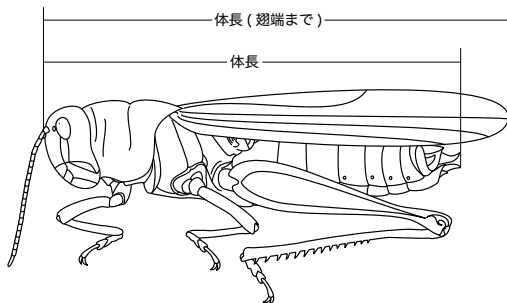
※種数データは日本直翅類学会編 (2006) バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑。北海道大学出版会。より引用



## ●各部名称



## ●体の測り方



## ●トノサマバッタのオスとメスの見分け方



オスのおしり(尾端)  
は舟のような形



メスのおしり(尾端)  
には卵を産む時に使  
う突起がある

